

「発刊にあたって」

北海道特別支援学校文化連盟

会長 山下秀樹

日頃から、関係の皆様には、本連盟の活動に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

本連盟は、「特別支援学校の文化活動等の奨励、連絡調整及び普及に努め、児童生徒の交流と心身の健全なる育成を図る」ことを目的に活動しております。その活動の一つとして、一年に一度、児童生徒の作品集を発刊してまいりました。今年度におきましても特別支援学校で学ぶ児童生徒の皆さんから寄せられました素晴らしい作品により、「北海道特別支援学校文芸作品集三十七」を発刊することができました。ご協力いただきました特別支援学校の児童生徒の皆さんにお礼申し上げます。

このたびの作品集は、北海道内の特別支援学校七十校から、作文、随筆、評論、創作文作品が三十一点、詩・短歌等が五十二点、書道十四点、絵画・造形の作品は百二十一点が寄せられました。いずれの作品におきましても、児童生徒ひとりひとりが、それぞれの思いや五感を通して感じられたことや体験されたことが、多様な表現方法を通してしっかりと伝わってくるものでした。

作文部門では、学校生活の様子等を生き生きと綴ったものなど興味深い作品が多数ありました。また、「詩・短歌・俳句・川柳」作品には、短い言葉の中に児童生徒の思い、情景や雰囲気などが凝縮され、表現の工夫が感じられました。さらに「絵画・造形」作品では、ひとりひとりの思いや表現が多彩で工夫ある作品がみられました。

こうした多くの作品を掲載しましたこのたびの作品集は、北海道立特別支援教育センターのwebページに掲載しております。アクセスしていただければ、ご覧いただくことができます。より多くの方にお気軽にご覧いただければと思います。また、この特別支援学校の文化活動を障がいのある方達の文化芸術活動の充実にも繋げていくために、多くの方にご案内いただけますようお願い申し上げます。

末筆となりますが、このたびの作品集の編集を担当しました北海道函館養護学校の野中宏校長をはじめ、関係職員の皆様には、ご多用の中、多大なるご尽力をいただきましたことに厚くお礼申し上げますとともに、本連盟の活動に対しまして、多大なるご支援をいただいております札幌フロンティアライオンズクラブ並びに一般財団法人北海道教育文化協会の皆様にご心から感謝を申し上げます、発刊に当たってのご挨拶といたします。